

山下 典孝

高等司法研究科・教授

【研究】

弁護士費用保険に関する研究を継続し、9月に東京で、10月では岡山で、11月では大阪、3月には東京で、研究報告やシンポジウムのパネリストとして参加して意見等を述べた。また4月に中旬には1週間、カナダのトロントとモントリオールに訴訟費用保険の訪問調査を実施し、その内容の報告書をまとめた。権利保護保険に関する論文を執筆し出版社に提出したが今年度中は刊行されなかった。人身賠償補償保険に関する研究を継続し、判例研究1本、論文2本を執筆した。

保険事故発生前の保険金請求権の帰属に関する理論的な研究を行い生命保険論集に論文を掲載することができた。その他、2016年10月29日に開催される日本保険学会大会シンポジウムの準備研究会を立ち上げ、共同研究を実施した。

【教育】

担当科目について、いずれもレジュメを事前に作成し配布の上、授業を進める形式を例年通り行った。エクスターンシップ2の受入先企業との打ち合わせを行った。

【管理運営】

大阪大学教員等の営利企業役員等への兼業に関する審査委員会委員として執務を行った。大阪大学歯学研究科倫理委員会委員として執務を行った。

【社会貢献】

住友生命保険相互会社の保険金等支払審査会委員として四半期毎に開催される会議に出席して意見等を述べた。日本保険学会の評議員及び関西西部会幹事として執務した。日弁連リーガル・アクセス・センターの拡大PTIに毎月オブザーバーとしてTV会議や東京での会議に出席した。第19回日弁連業務改革シンポジウム第7分科会の準備のため4月にカナダに訪問調査に同行し、10月開催のシンポジウムにパネリストとして参加した。

新聞社から弁護士保険(弁護士費用保険、権利保護保険)に関する取材申込みがあり、適切に対応した。同じく、新聞社から認知症高齢者による行為について保険対応に関する取材申し込みがあり、適切に対応した。テレビ局からテロ保険に関する取材申し込みがあり、適切に対応した。損保弁護士協議会から依頼を受け、9月に弁護士費用保険について講演を行った。3月には、損保総研からの依頼を受け、特別講義として、弁護士費用保険の新たな展開というテーマで講演を行った。

法科大学院協会職域委員会委員として修了生のエクスターンシップの保険対応に関する書類作成に尽力した。